

今週のモーニングセミナー報告

令和3年6月16日(水)の講義 <第858回>

テーマ：学びの効果を上げるコツ

講師：(一社)倫理研究所 法人局 普及事業部 中国・四国方面 方面長 松本光司 様

「捨てる」も純情の1つだと感じました。

「Don't think Bw Feel」心にうたれました。

会長の挨拶もよかったです。

担当者：熊田 輝司

松本光司方面町の話 昨夜の基礎講座では明朗について話されました。今朝のモーニングセミナーでは学ぶことはまねる事。守破離は基本→応用→自由の順番が大切で学んでいく話をされました。私も仕事も日常の生活も明るく朗らかに、なりたいモデルとなる人をまねていき、成長をしていきたいと思いました。

担当者：松浦 清貴

昌山会長・松浦専任幹事のスピーチに寸評。「学びの効果を上げるコツ」と題して、丁寧な用語の説明からご自身の倫理研究所に入所した当時の経験の話された。<学ぶ>は「真似る」。一般教養として学校で当てが割れたことに対して生徒側が選ぶ姿勢は疑う姿勢がありここで云う<学び>でなく研究。師匠と弟子の関係が真似るに通じる。守(基本)破(応用)離(自由)最初の(基本)を書道のことを例に、基本ができていない人の書と最初から勝手に書いている人の書では基本があるかどうかで全く違うものになる。倫理研究所に入って17か条を暗唱するテストには行き詰った。先輩指導者は、尋ねても暗唱する方法を教えてくれなかった。「松本君は捨てきれてないな～」とだけアドバイス。自分の持ってきたもの、プライド、現在不用なもの全て捨てた。空っぽな気持ちになった時、葉の文章がすらすらと暗唱できるようになった。印刷所の後継者の立場も捨て、背水の陣で取り組んだ結果が今の自分を押しすすめてくれた。学びの基本は徹底的に「真似て」、持っているものを「捨てる」こととお話された。

担当者：赤山 芳隆

昨夜に引き続きご講話誠にありがとうございました。「学ぶ」は真似ることから始まる、その時の心得は「守(基本)・破(応用)・離(自由)」、日本の武道・茶道の学びにおける姿勢が大切であると、また「守(基本)」においては、そのまま受け入れることが大事で、そのためには3つの「捨」が必要であると話されました。①経験をすてる②価値観・先入観を捨てる③プライドを捨てる。人はどうしても、安定を担保してしまいます。多くの物事を自らの経験で予想し、決めつけてしまいがちです。しかし、このような我が「学び」には邪魔をするということです。以上から考えること、邪念を捨て、謙虚な気持ちになる、これは「学ぶ」に関わらず、人生は自己成長の喜びと考える自分にとってとても大切な心得であると思います。

倫理法人会での学びはいつも今の自分に何が必要かを教えてくれます。皆さんからのご指導、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

会長：昌山 晃一呂

連絡事項

※次回のモーニングセミナーは6月23日(水)朝6:00~7:00(株)中虎2Fにて経営者モーニングセミナーがあります。「役職から学んだこと」と題しまして、香川県高松市倫理法人会 幹事(有)岸下タイル 代表取締役 岸下康洋 様の講話を予定しております。次回も是非ご参加ください。

出席社数 18社 18名 (Zoom参加 0社 0名)

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp